8 **外国語活動(外国語)・コミュニケーション活動** < 全 体 計 画 >

(これからの社会)

グローバル化の加速度的な進展 「多文化共生」の時代

〈グローバル社会で求められる資質・能力〉

- ・自分の意見や考えを明確に持ち、相手意識 や目的意識をもって適切に表現できる能力
- ・社会の問題に目を向け、多様な価値観をも つ人々と協働して問題を解決しようとする 能度
- ・コミュニケーションを図る目的や場面、状況等に応じて、伝えたい内容や必要な表現を自分で考え、適切に伝えることができる能力

【学習指導要領の趣旨から】 外国語活動(外国語)の目標

外国語を用いた言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる4技能 (聞く、読む、話す、書く)の資質・能力を育成する。

教科等との関連

語

理

科

言葉の大切さや面白さに気付き、 相手に伝わるように話したり自分の 考えと比べながら聞いたりすること を通して、互いの立場や考えを尊重 し伝え合う力を高める。

外国の人々と共に生きていくため 社 には異なる文化や習慣を理解し合う 会 ことや平和の大切さなどに気付く。

見通しをもち筋道を立てて考える 算 力や、分かりやすく説明したり互い 数 の考えを伝え合ったりする力を高め

観察・実験において科学的な見方 や考え方を養い、見通しをもって観 察や実験を行い、科学的な言葉や概 念を用いて表現する力を高める。

人とのかかわり等について考える 生 ために、活動や体験したことを振り 返り、自分なりに整理したり伝え合 ったりする活動の充実を図る。

感じたことや心に思い描いた様子 音 を言葉で伝え合うことにより、友達 楽 や自分の感じ方のよさに気付く。

感じたことや思ったことを話し合図 うなどして表現の意図や特徴などをエ とらえ、自分の感じ方や考え方を広げる。

校是・学校教育目標

こころひらいて ゆめをそだてる きっとできる! えがおのために!

めざす子ども像

- ○学びを生かす喜びを実感し、主体的・対話的に学んで自己の学びを深める 子ども
- ○高い志をもち、その達成に向けて粘り強く挑戦する子ども
- ○感謝と思いやりの心をもって共に生き、ふるさとを愛する子ども

研究主題

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導の工夫と 充実~えがおで学び、おもいがつながる授業をめざして~

本校の外国語活動(外国語)の目標

考えや気持ちを伝え合う楽しさや大切さを知り、 主体的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成

外国語活動(外国語)を通して育てたい児童像

- ・いろいろな人との関わりを通して、外国語で思いや考えを伝え合う 楽しさや大切さを知り、主体的にコミュニケーションを図ろうとす る子ども
- ・外国語を聞いたり話したりすることを通して、言葉の面白さや豊か さに気付き、多様なものの見方や考え方があることや、自分が住む 地域や国の文化のよさに気付き、ちがいを認め合い、尊重していこ うとする子ども

【外国語活動(外国語)における言語活動】

- ・語いや表現に興味をもって出合える活動
- ・何度も聞いたり言ったりできる言語活動
- ・コミュニケーションを図れる言語活動
- ・身近で自然な場面設定のある言語活動
- ・聞く必然性、話す必然性のある言語活動
- ・言語や文化への気付きが起こる言語活動

児童の実態

明るく子どもらしく、街中にいながら素直で純朴な面をもっている。全般的に外国語に興味・関心をもっており、しだいに外国語でコミュニケーションを図ることができるようになってきている。そして、さらにALTなどの様々な人とふれ合いたいという意欲ももっている。しかし、自ら積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度については個人差が大きい。

教科等との関連

- 体を動かしたりグループで協力し 体 て話し合ったりすることで、運動に親 育 しむ資質や能力を育成し、健康の保持 増進および体力の向上を図る。
- 外国語を通じて、言語や文化につい 道 て体験的に理解を深め、日本人として 徳 の自覚をもって世界の人々と親善に 努めようとする心情を育てる。
- 特 集団の中で自他のよさを認め、より 活 よい人間関係を築き、協力し合う意欲 や態度を養う。

多様な他者と協同して学習活動を行

総 い、体験したことや収集した情報を言 合 語により分析したりまとめたりして 表現することを通して、よりよく問題 を解決する資質や能力を育成する。

外国語活動(外国語)の環境整備

- ・授業や研究会などを通した異校種間の連携(大曲中学校)
- ・ALT の有効活用
- ・職員研修の充実
- ・児童用端末などの ICT 機器の効果的活用
- ・既習事項を取り入れた英語ルームの環境 づくり
- ・HP, 通信などによる保護者や地域への情報発信
- ・イングリッシュキャンプなどのイベント への参加の奨励

1 外国語活動(外国語) 研究主題

考えや気持ちを伝え合う楽しさや大切さを知り、

主体的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成

= 主題設定の理由 =

本校の児童は、街中にいながら素直で純朴なよさがある反面、人前で積極的に自分の意見を述べたり、伝えたい内容を適切に表現したり、説明したりする力が十分とはいえない。外国語活動(外国語)においては、いろいろな人と外国語を通じてふれ合いたいと思っている児童は多いが、実際に積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度については個人差が大きい。そこで、外国語活動(外国語)を通して「相手意識、目的意識をしっかりともって、分かりやすく伝え合う活動」、つまり意味のあるコミュニケーション活動を大いに経験させることが、本校児童の課題の解決につながると考え、本研究主題を設定した。

今後児童がグローバル化のさらに進む社会生活の中でたくましく生きていくためには、文化や価値観の異なる人々との相互理解を深め、共通する課題を解決していくコミュニケーション能力が不可欠である。

秋田県では、「言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する授業づくり」(『R6 学校教育の指針』より)を外国語活動(外国語)の重点としている。よって、本校外国語活動(外国語)の研究主題は、県が目指す方向性とも合致していると考えられる。

2 研究の仮説

- ・友達やHRT、 ALT など、いろいろな人との関わりを大切にし、知りたい・伝えたいと思うような題材、場面設定等を工夫することで、自分の考えや気持ちを伝え合う楽しさや大切さを実感できるのではないか。
- ・「本時のねらい」から、「ねらいを達成するための学習活動」、「評価」まで整合性をもたせ、さらに学習の成果を実感できる振り返りを工夫することにより、学習に見通しをもち、単元のゴールに向けて主体的にコミュニケーションを図ろうとする意欲が育つのではないか。

3 研究の重点と実際

「知りたい」「伝えたい」を大切にした授業づくり

- ・英語を使う必要感のある場面設定や、既習表現を活用した言語活動の設定
- ・目的・場面・状況等に応じて、他者を尊重しながら対話が図られるような言語活動の設定
- ・児童が興味・関心をもつ身近な題材や、社会や世界との関わりを重視した題材の設定
- ・他校との Teams による交流学習など、ICT 機器の適切な場面での効果的活用

主体的なコミュニケーション活動の充実

- ・一年を通した目標を達成するための目指す姿を明確にした活動の設定と、1単位時間ごとのねらいの明確化
- ・"Let's try!" や "New HORIZON Elementary English Course"で扱われる言語材料及び既習事項を効果的に活用し、事実や自分の考え・気持ちなどを整理し、伝え合う活動の設定
- 児童が、自分の英語を話すレベルの高まりを実感できるようにするための中間評価の確保
- ・習得した知識及び技能を実際のコミュニケーションに活用できたことを、児童が実感できる振り返りの工夫
- ・「進んで英語を使ってみたい」という児童の意欲につながるような、教師の声かけや励まし
- ・児童の困り感(実態)の把握と、個に応じた指導・支援(児童用デジタル教科書の活用など)



- ・中学校区における情報交換、授業交流及びカリキュラムの連携(年間指導計画等)
- ・効果的なTT(学級担任・専科教員・ALT)の活用
- ・教員の指導力向上のための研修の充実
- ・一人一人の児童を伸ばす評価の工夫
- 児童の興味・関心等の学習状況の把握
- ・日常生活に関連させた題材・教材の工夫
- ・既習事項や世界の国々(文化)についての掲示物を活用した学習環境の整備